

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17 : 30 ~18 : 30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田  
池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	2 人	1 人	14 人

**前回の改善計画**

利用開始時に、朝礼、申し送りノートを活用し全職員への情報共有を図る。

**前回の改善計画に対する取組み結果**

前回の改善計画に基づき、利用開始時にはカルテや朝礼、申し送りノートを活用し、本人情報やニーズの共有、声掛けによる不安軽減、本人・家族との関係づくりに努めることができた。一方で、勤務体制や時間的制約により、全職員が事前情報を十分に把握できない、ミーティング参加や記録共有が不十分といった課題が残った。今後は記録の徹底と情報共有の仕組み強化が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	10	3	1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	3	1	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	12	0	1	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	11	0	1	14

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始時に声掛けを行い、不安や体調、疲れの有無を確認できている
- ・カルテ、朝礼、申し送りノートを活用した情報共有ができている
- ・本人の不快感や不安を与えない対応を意識している
- ・個別ニーズの把握に努め、本人だけでなく家族への支援・関係づくりを行っている
- ・初回利用時には連携を図り、安心して利用できるよう配慮している

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用開始前までに情報やニーズを十分に把握できていない場合がある
- ・ミーティング不在や公休により、初回利用時の情報共有に差が生じている
- ・記録が不十分で、口頭伝達に依存している場面がある
- ・初回利用時の一日の流れ説明や他利用者とのつながりが不十分
- ・勤務時間や業務都合により、パソコンでの情報確認や全体ミーティングが困難
- ・夜勤スタッフとの情報共有が十分に行えていない

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)

- ・利用開始前に必ず基本情報・支援上の注意点を整理し、申し送りで全職員に周知する。
- ・カルテ 1 ページの利用者情報に、過不足があれば追加記入・修正を行う。
- ・朝礼に参加できない職員や夜勤職員にも確実に情報が伝わるよう、要点を記録に残し、申し送りで、共有を徹底する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17 : 30 ~18 : 30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田  
池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画  
受け持ち担当職員がカンファレンスまでに、他職員の意見、記録も踏まえた評価の実施をする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
受け持ち担当職員が計画書を作成・確認することで、担当利用者の「～したい」という当面の目標の把握は進み、個別機能訓練や声かけなど目標を意識した関わりが一部で実践できた。一方、日常業務の忙しさから記録や共有が不十分となり、担当外利用者の目標把握やミーティングでの振り返り、ゴールの共有までには至らず、継続的な情報共有の仕組みづくりが課題として残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	7	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	5	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	5	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	6	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・担当利用者の目標を計画書から確認し、把握できている
- ・新規利用者については自ら計画書を作成し、目標理解が進んでいる
- ・個別機能訓練により、利用者一人ひとりに合わせた支援ができている
- ・本人の「～したい」を意識した声かけ・関わりが行われている
- ・実践した関わりを発信し、振り返りにつなげられている職員がいる
- ・計画書作成・モニタリングは昨年より定着してきている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・目標を意識した関わりが不十分で、個別性に欠ける場面がある
- ・実践内容や変更点の情報共有が十分にできていない
- ・担当外利用者の目標やゴールを把握できていない
- ・日常の関わりが集団対応に偏り、個別支援が不足している
- ・朝礼・ミーティング・カンファレンスでの報告や振り返りが不十分
- ・相談・共有の場を計画的に設けられていない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・担当職員が中心となり、計画書に基づく目標・ゴールの再確認を行い他職員へ発信する。
- ・目標に沿った声かけや支援を意識し関わりを実践する。実践内容や気づきの記録と情報の共有を図る。
- ・朝礼や短時間ミーティングでの共有を継続し、担当外職員も共通理解を持てる体制を整える。
- ・職場会等で月 1 回の振り返りを定着させ、評価結果を次の支援計画や関わり方の改善につなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17:30 ~18:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田  
池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	3 人	2 人	14 人

前回の改善計画

生活歴、生活習慣シートを用い、家族だけでなく本人からの生活歴、生活習慣の聞き取りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

前回の改善計画により、個別性を意識した支援や、食事・排せつ等の基礎的介護、体調変化時の共有と対応は一定程度できている。一方、生活歴・生活習慣シートを活用した本人からの聞き取りや記録、共有は不十分で、「以前の暮らし方」の把握が十分とは言えない。初回評価やケア変更時の記録のルール化がされておらず、業務の多忙さによる情報収集・確認不足が課題として残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	2	11	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	0	3	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	5	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	0	1	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	2	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

計画書作成への関与を通して、個別性を意識した支援ができている  
本人の状態や希望に合わせた食事・排せつ等の基礎的介護ができている  
体調や気持ちの変化に気づき、その場で報告・共有し対応しリーダーへ報告する意識がある  
必要に応じてミーティングを行い対応を確認できている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

生活歴・生活習慣シートを十分に活用できていない  
本人から「以前の暮らし方」を 10 項目以上把握できていない  
情報収集・記録・共有が不十分な場面があり、初回評価やケア変更時の記録が徹底されていない  
ケア内容（食事・入浴・排せつ等）の統一が十分でない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・利用開始時および更新・ケア変更時に、生活歴・生活習慣シートを必ず確認・記入をルール化する
- ・本人・家族からの聞き取りを計画的に行い、「以前の暮らし方」を最低 5~10 項目は記録・整理する
- ・食事・入浴・排せつ等の支援内容について、担当外職員も含め、日常関わりの中で得た生活情報や気づきを随時記録し支援方法の統一を図る

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田 池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	4 人	9 人	1 人	14 人

前回の改善計画  
本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握、活用に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果  
本人・家族との日常的なコミュニケーションやカルテ確認を通じ、生活スタイルや人間関係について一定の理解は進んだ。変化時には家族へ連絡するなど関係維持にも努めたが、民生委員や地域資源との具体的な連携には至らず、地域活動や自治体との関わりが乏しいため、暮らし全体の把握や地域資源の活用は十分に進まなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	0	9	4	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	6	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	6	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	9	3	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・ 本人や家族とのコミュニケーションを通じ、人間関係や生活スタイルを一定程度把握できている  
・ カルテ確認や本人への聞き取りにより、情報収集に努めている  
・ 変化があった際には家族へ連絡し、関係維持を図っている  
・ 担当利用者については日常生活の様子をおおよそ理解できている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・ 民生委員や地域資源との具体的な関わりや連携できていない  
・ 事業所が関わらない時間帯の暮らしの把握が不十分  
・ 地域資源の情報収集や発掘が進んでいない  
・ 本人と地域とのつながりづくり、地域資源の活用に至っていない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・ 本人・家族への聞き取りを通じ、事業所外での生活状況や地域との関わりを整理し把握する  
・ 把握した地域資源について職員間で情報共有し、支援への活用可能性を検討する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田 池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	8 人	3 人	2 人	14 人

前回の改善計画	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使つての支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の状態やニーズに応じて、「通い・訪問・宿泊」を柔軟に組み合わせた支援は概ね実践できており、日々のかかわりやミーティングを通じて変化に気づき、共有・対応する体制は整っている。一方、地域資源の理解や活用は十分とは言えず、口頭中心の報連相により記録が不十分な場面もあった。今後は地域資源の把握と記録・情報共有の強化が課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使つて支援していますか?	1	2	9	2	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	8	1	1	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10	1	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	1	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の状態・ニーズに応じて「通い・訪問・宿泊」を適切に組み合わせた支援ができている</li> <li>日々のかかわりや記録から本人の変化に気づき、ミーティング等で共有できている</li> <li>状態変化に応じ、その日・その時に必要な柔軟な対応ができている</li> <li>事業所内での報連相により、概ね共通理解を持って支援ができている</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を把握・活用した支援ができていない</li> <li>口頭での報連相に偏り、記録に残らない情報があり、情報共有が全体に行き渡っていない場合がある</li> <li>地域活動や地域とのつながりを活かした支援機会が少ない</li> <li>情報共有が職員全体に行き渡らず、知らない職員がいる場合がある</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源活用に関する職員間の情報共有・理解促進を図る</li> <li>本人の状態に応じ、地域活動や地域との関わりを支援に取り入れる</li> <li>本人の変化や対応内容について、口頭のみで終わらせず記録を徹底する</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17:30 ~18:30 )

6. 連携・協働

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田  
池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	6 人	6 人	14 人

前回の改善計画

介護、看護職員も運営推進会議へ参加し地域との関りを持てるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議の開催や茶話会、小学生・保育園児の来訪、ボランティア受入れ等を通じ、地域住民との交流や意見聴取の機会は確保できた一方で、送迎時間や人員配置の制約から参加職員が限定され、他職員の会議参加や自治会行事等への参画は進んでいない。地域活動に関する情報共有不足も課題として残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	4	3	6	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	4	9	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	1	2	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	10	2	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・運営推進会議を定期的で開催し、地域住民の意見を聴取できている
- ・月 2 回の茶話会や小学生・保育園児の来訪など、地域交流の機会が継続している
- ・ボランティアや学校行事を通じ、地域住民が事業所を訪れる体制ができている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・介護・看護職員を含む複数職員の運営推進会議への参加ができていない
- ・自治会や地域イベント、他機関との会議への参加が十分でない
- ・地域活動・行事に関する情報共有が不十分で、理解が進んでいない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・会議内容や地域からの意見を記録・共有し、参加できなかった職員にも周知を徹底する
- ・自治会や地域包括支援センター等の行事・会議情報を一覧化し、職員が把握できる仕組みを作る
- ・地域行事への参加について、事前に役割分担や参加可能職員を調整し、可能な範囲で参画する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 30 )

7. 運営

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田  
池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	4 人	3 人	14 人

前回の改善計画

事業所のあり方について、職場会等を活用し、職員として意見を募る。  
地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みに努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

職場会を通じて職員間の意見交換が定着し、利用者・家族からの意見や苦情は共有され、運営に一定程度反映できた。また自治会加入や見守り活動など地域との関わりは継続できている。一方、些細な意見の共有不足や事業所運営への理解・発信力の弱さ、地域と協働した主体的な取組みは不十分であり、今後の課題。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	9	4	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	1	2	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	1	3	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	7	5	2	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者・家族・介護者からの意見や苦情をリーダーや管理者へ報告し、共有できている
- ・職場会で意見交換が行われ、改善提案がしやすい環境が整ってきている
- ・苦情は事業所として対応し、運営に反映できている
- ・自治会加入や登下校見守り、お便り発行など地域との関わりは継続できている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・些細な意見・苦情が全体共有されず、当事者判断で完結する場合がある
- ・事業所のあり方や運営に対する理解・発信が職員全体で不十分
- ・地域行事への参加や地域と協働した取組みが限定的で、地域との関係づくりや主体的な関わりが不十分

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域との関わりについて、現在の取組みを整理し、職員へ周知・理解を深める
- ・地域行事や活動への参加可能な内容を検討し、無理のない形で地域協働の機会を 1 件以上創る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田  
池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	8 人	2 人	14 人

前回の改善計画

研修に参加できなかった職員へ職場内伝達講習の徹底を図る。  
地域連絡会に介護、看護職員も参加できるような役割分担をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修に参加できなかった職員は、研修資料や動画の視聴により、内容共有が図られる環境はあり、一定の理解促進は図れた。また、職場会を質向上に関する話し合いの場として活用し、事故・ヒヤリ時の情報共有やリスクマネジメント意識の向上につながっている。一方、地域連絡会や資格取得等の研修は、情報不足や業務多忙、開催本部との距離の影響もあり参加が十分に進んでいない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	4	6	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	4	6	4	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	10	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	11	2	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

研修不参加者も資料・研修動画で内容を把握できている  
職場会が質向上に関する意見交換の場として機能している  
事故・ヒヤリ時の情報共有が申し送り等で行われている  
リスクマネジメントへの意識があり、意欲的な職員がいる

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会への参加実績がない
- ・資格取得やスキルアップ研修への参加が進んでいない
- ・外部研修への定期的な参加体制が整っていない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・業務調整を行い、介護・看護職員が地域連絡会や研修に参加できる役割分担を明確にする
- ・研修内容やヒヤリ・事故対応を職場会で共有し、リスクマネジメントの継続的な見直しを行う

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 1 月 5 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 石田 西中 藤山 角 鈴木 後藤 澤田 仲川 富田  
池田 森脇 岩岡 島谷

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	4 人	2 人	14 人

前回の改善計画
成年後見制度について理解を深め、必要な方が発生した場合は、後見人との連携を深め、サービスの質の向上に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
成年後見制度について理解を深める必要性は共有できたが、具体的な活用や後見人との連携には至らなかった。家族背景や財産管理の把握が不十分で、専門性への不安から導入に踏み込みづらい状況がある。一方、身体拘束や虐待防止、個人情報管理、プライバシー配慮は概ね実践できているが、利用者を待たせる場面もあり、人権意識のさらなる向上が課題として明確になった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3	0	2	14
②	虐待は行われていない	8	4	0	2	14
③	プライバシーが守られている	5	7	0	2	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	5	4	4	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	10	0	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束をしていない 虐待は行われていない プライバシーが守られている 適正な個人情報の管理ができている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度に関する理解が不十分で、具体的な活用・導入ができていない 家族背景や財産管理状況の把握が不十分 後見人や専門職との連携経験がない 利用者を待たせる場面があり、人権配慮が十分でない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・成年後見制度について、職員の基礎理解を深め成年後見制度が必要となる可能性のある利用者について、家族背景・生活状況・金銭管理の実態を整理する ・利用者を待たせない支援体制を見直し、業務分担や声かけの工夫を行う	